

はじめに

千葉県には、豊かな自然環境の中で生まれ、古来より伝えられた生活文化、全国各地から移り住んだ人々によってもたらされた文化、そして、県内で取り組まれている新しい文化など、さまざまな文化があります。「ちば文化」は、こうした歴史の蓄積や日々の活発な交流の中で創造された多様で豊かな文化であるといえます。

「ちば文化振興計画」は、県民一人ひとりが「ちば文化」を創造・承継し、郷土への愛着や誇りを育み、アイデンティティーを醸成することによって、心豊かな県民生活と活力ある千葉県をつくってほしいと、総合計画「輝け！ちば元気プラン」を踏まえて策定したものです。

この計画の策定を進めているさなかの平成23年3月11日に、東日本大震災が起きました。

多くの方が愛する家族や生活の場をなくし、希望を失いかけていたとき、音楽や踊りなどで元気づける活動や文化イベントでの募金活動が各地で行われました。こうした活動を見聞きするたびに、「文化とは、これほどまでに人々をなぐさめ、力づけることができるものなのか」とあらためて胸が熱くなりました。

また、文化は、福祉や産業など行政のあらゆる分野に深くかかわっています。地域の文化資源をまちづくりや観光に生かすことで、文化は、地域をもっと元気にしていく源にもなります。

「ちば文化」をつくる主役は県民一人ひとりです。県は、市町村や関係団体などと交流・連携して、主役である県民の皆様が、文化芸術活動により積極的に取り組めるよう支援していきたいと思っています。

結びに、本計画の策定にあたって、熱心に御審議いただいた「ちば文化懇談会」の委員の皆様をはじめ、貴重な御意見をお寄せくださいました多くの県民や関係団体の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

平成24年3月

千葉県知事 森田 健作